



インターンシップ生
広島大学 大場愛子さん

”若者はまちのエネルギー”

若者や女性が **”私らしく、輝けるまち”** に向けて 広島大学からのインターンシップ生が、 竹原の魅力を伝えるプロジェクトを実施！

内容

9月16日～26日のうちの8日間、竹原商工会議所へのインターンシップ生として、広島大学から大場愛子さんが来られました。

「ALL竹原きらっと未来創造会議」の取組に興味を持っていただき、ALL竹原との連携企画として取り組んでいただきました。竹原の魅力発信や竹原の未来づくりの可視化等を目的に、中高生や市民の方へのインタビューやアンケートを通して、竹原の魅力を伝える冊子「たけスタイル」の作成や現状の課題などを取りまとめていただきました。

インターンシップ最終日（9/26）には、ALL竹原の事務局メンバーも加えて発表会を開催し、この8日間の成果発表（調査結果、提案など）がありました。

今回のプロジェクトを実施して

8日間、竹原のまちで活動していただいた大場さんにお聞きしました。

Q. 竹原市の印象と魅力は？

竹原市は地元愛に溢れたまちだと思いました。インターンシップ期間中に関わった方々もとても優しく、あたたかく声をかけてくださり、地域全体で人と人とのつながりを大切にしている雰囲気があると感じました。

また、山も川も海もそろった自然豊かな環境も竹原の魅力だと思います。特に的場海水浴場はお気に入りの場所で、先日も友人と夜に星を見に行きました。静かな波の音と満天の星空がとても印象的で、竹原の穏やかさと美しさを改めて感じることができました。

Q. 若者がまちに関わることで、まちがどう変わっていくと思いますか？

若者がまちづくりに関わることで、自分たちの意識が変わり、それが周りの世代にも広がっていくと思います。地域の魅力を知ることで「まちのためにできること」が徐々に見えてきて、前向きに関わる姿勢が生まれと考えます。若者はやはり、まちのエネルギーの原動力です。そうした若い力が少しずつ広がれば、世代を超えてまちへの思いが共有され、竹原がさらに元気で魅力あるまちになっていくと感じました。

CHECK!

今回の研修の中で、市民や学生の皆さんのインタビュー等をまとめた冊子

「たけスタイル ～暮らしの数だけ、物語が生まれる町。」

を作成していただきました。今後、ホームページ等に掲載する予定です。



◀裏面に中学生・高校生へのアンケート結果を紹介しています。▶

＜アンケート先：竹原中学校、竹原高等学校の生徒 ※回答数：247名（中学校127名、高校120名）＞

◆好きな場所・イベントについて

Q. 地元の「好きな場所」「おすすめスポット」を教えてください。 ※N=247

【回答】※主な回答

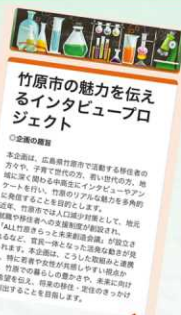
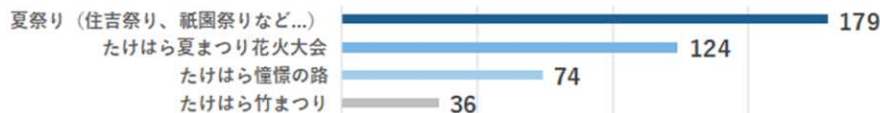


※その他の回答

・瀬戸内さざなみ線竹原一忠海
・道の駅たけはら
・大久野島
など

Q. 地元の好きなイベントや文化活動等を教えてください。 ※N=247

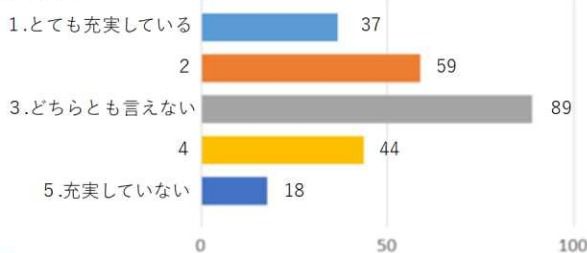
【回答】※主な回答（複数回答）



◆暮らしの充実度について

Q. 日々の暮らしの中で娯楽や気分転換できる場所は十分にありますか？ ※N=247

【回答】※5段階評価



Q. 地元にこんなことがあればいいな、と思うことはありますか？ ※N=189

【回答】1. 商業施設・店舗に関する要望（計82件）

大型商業施設・ショッピングモール系（44件）
飲食店・カフェ系（24件）、その他店舗（14件）

2. 娯楽・レジャー施設に関する要望（計63件）

ゲームセンター系（20件）、
スポーツ・身体活動施設系（11件）、映画館（7件）、
カラオケ（4件）、その他娯楽施設（21件）

3. 公共空間・イベントに関する要望（計26件）

勉強・交流スペース（8件）、イベント・祭り（8件）
公園（7件）、公共施設・図書館（3件）

4. 特になし・無い（18件）

◆地元の未来への不安について

Q. 地元の未来について、何か不安がありますか？ ※N=247

【回答】

1. ある（内容記入者）：68.4%
2. 未記入：31.6%

ALL竹原きらっと未来創造会議では、
まちに関わるすべての人が一丸と
なって、前向きに取り組めます。

Q. その内容は？

【回答】1. 人口減少・消滅・合併の可能性（計57件）

- ・人口減少、過疎化、人がいなくなる（25件）
- ・市が消滅すること、市名がなくなること（15件）
- ・「消滅可能性都市/自治体」に選ばれていること（4件）
- ・他の市町村との合併の可能性（5件）
- ・少子高齢化の進行（7件）
- ・限界集落化（1件）

2. 店舗・施設の不足と撤退（計14件）

- ・店舗・お店・施設の不足や閉店（11件）
- ・娯楽施設・遊ぶ場所の不足（3件）

3. 地域環境・インフラ・情報伝達に関する懸念（計8件）

- ・災害時の危険性・避難場所の不足（4件）
- ・空き家の増加・景観の悪化（2件）
- ・交通の不便さ（1件）
- ・行政からの情報伝達不足（1件）

※今回は、市内2校の皆さんのアンケート結果です。今後、他の中高生の皆さんからのご意見も伺うため、
市内の他の中学校・高校にもアンケートをお願いする予定です。

ALL竹原きらっと未来創造会議 事務局

竹原市企画部企画政策課（竹原市中央五丁目6番28号 TEL：0846-22-0942）

竹原商工会議所（竹原市中央三丁目7番1号 TEL：0846-22-2424）

ALL竹原きらっと未来創造会議
の情報はこちらから

